



第11回ディスカバー農山漁村の宝 中国四国農政局選定地区一覧

中国四国農政局管内から応募のあった137件より、次の8地区と1名を「中国四国農政局『ディスカバー農山漁村の宝』」として選定しました。

特定非営利活動法人 未来守りネットワーク（鳥取県境港市） P.10 海～川～山をつなぐ（環境の保護・再生・中山間地域）再生

中海再生プロジェクト「よみがえれ中海」をテーマに、将来を担う子ども達へ未来をつなぐため、環境保全・再生活動に取り組む。



大森 雄介（島根県安来市） P.19

くるもの拒まず、去らせない

安来市に移住後、研修を経て平成30年に就農。農業の付加価値を高めるため、生産者と消費者の距離を縮める農家のオープン化を理念に国際交流プログラム等を実施。



NPO法人真庭あぐりガーデンプロジェクト（岡山県真庭市） P.33

「お節介野菜」から広がる地域循環の輪！

令和元年より、規格外で捨てられる地場産野菜をなくすため、地域の高齢者がカットした規格外野菜を商品化・販売する「お節介野菜」のプロジェクトに取り組み、毎年取扱量が増加。



瀬戸内怪獣レモンプロジェクト委員会（広島県尾道市） P.41

「怪獣レモン」と、規格外の未来を耕せ！

見た目のゴツゴツした規格外レモンを怪獣に見立て、「怪獣レモン」としてブランド化。地元企業のみならず全国メーカーともスナック菓子やスイーツ、飲料などの商品を開発・販売。



棚田清流の会（山口県周南市） P.55

くらしがいを見つけられる郷づくり

休耕田の草刈り作業などの農地・景観の保全、農業体験や「棚田サポーターズクラブ」設立などによる都市部住民との交流など、様々な取組を実施。地域活性化に取り組む。



家賀再生プロジェクト（徳島県つるぎ町） P.66

家賀の藍は日本の桃源郷からの贈り物

世界農業遺産の「にし阿波の傾斜地農耕システム」でカヤ、落葉などを用い「藍」を栽培。地元団体と協働して家賀地区でのツアーや農業体験の受入れを実施。



三高みんなの食堂プロジェクト （香川県立三本松高等学校）（香川県東かがわ市） P.76

学食の復活、そして地域食堂へ

良質な食の提供、生徒の活動と学び、地域住民の交流の場としての食堂を目指し、地域の良さを体感できコミュニティを活性化する取組。



しまなみイノシシ活用隊（愛媛県今治市） P.85

野生鳥獣との新たな共生のカタチ

イノシシによる農業被害の防止（1次産業の保護）と捕獲したイノシシの価値を最大限に利活用し、自然との「共生」を目指しながら農業生産活動の維持に取り組む。



有限会社 戸田商行（高知県土佐市） P.96

里山の宝を世界に～日本最期の木毛屋の挑戦

プラスチック製緩衝材にシェアを奪われ衰退する中、伝統の継承を大切に、天然緩衝材「木毛（もくめん）」にこだわり作り続け、木育活動、地域連携に取り組む。

